

APEC 女性と経済フォーラム 2019 (WEF)

APEC Business Efficiency and Success Target Award

林 横浜市長 オープニングスピーチ

2019年10月2日

○ロシア連邦経済発展省アジア・アフリカ副局長 ナタリア・ストリグノヴァ様、女性起業家、女性経営者の皆様、ご来賓の皆様、ご臨席の皆様、
本日は APEC ベストアワードの開催、誠にありがとうございます。
○今年もお招きいただき、大変光栄です。

○ベストアワードは、女性起業家の皆様のビジネスによる社会変革を評価する、大変意義深い賞です。
アワードへの参加は、ビジネスの国際化への可能性を広げ、ベストプラクティスの共有は、さらなるビジネスの進化につながります。
○そして、ビジネスを通じてより良い社会を築いていこうという、熱意にあふれた参加者が集い、築かれるネットワークは、大きなエネルギーです。
APEC エコノミー中から集まった皆様が力を合わせれば、世界は必ず変わると確信しています。

○私は、企業の経営者を経て、日本最大の市の市長になりました。
私が、経済界から政治の世界に転身した大きな理由は、後に続く女性の活躍を応援したいという思いからです。
○私は経営者として、女性と男性が双方の強みを発揮することで、成果が上がることを経験してきました。同時に、少数派であるが故の苦労や悔しい思いもしましたし、数多くの女性従業員が、育児と就労かの二者択一を迫られ、止む無く離職する姿を見て、悔しい思いをしてきました。
○だからこそ、横浜市長に就任後、真っ先に「保育所待機児童対策」に取り組みました。私が市長に就任した10年前、横浜では、保育所に入れなかった子どもたち、「待機児童」が、全国最多の1,500人を超える状態でした。

○保育所の整備や拡充に加え、保護者の要望を聞き取り、必要な保育サービスに結び付ける相談員を配置するなど、あらゆる手立てを尽くし、3年で待機児童をゼロにしました。

○この取組は「横浜方式」として、日本全国に広がり、今年10月には、保育所の無償化も実現します。女性の活躍を応援したいという一心で、積み重ねてきた政策が、大きなうねりとなり、国をも動かしたのです。

○女性の起業支援にも力を注いでおり、事業を立ち上げる方への低利融資、専門家によるコンサルティング、女性起業家専用のシェアオフィス、大型商業施設や百貨店と連携した商品販売など、一人ひとりにきめ細やかな支援をしています。

○こうした支援を活用して起業した女性は、8年間で316人に及び、85%の事業継続率をあげています。ビジネスは起業すると同時に、継続していくことが重要です。

○ビジネス継続の鍵は、人とのつながりです。私は18歳から55年働いていますが、出会った方々とのつながり一つひとつが、大事な場面で私の背中を後押ししてくれました。

○どのような困難や挫折にも、立ち止まることなく、誠意をもって取り組んでいけば、必ず道が開けるのです。

○本日は、若く可能性に満ち溢れた皆様とお会いでき、私は大きなエネルギーをいただきました。ここで出会えた奇跡を大切にし、共に世界をより良くしていきましょう。

○ありがとうございました。